

共通教養科目 履修要領・教育課程表(2014年度入学者に適用)

- (1) 卒業するために必要な単位数(卒業要件単位数)は、各学科で異なるため、各学科専攻科目の『教育課程表』で確認してください。また、**1** 共通教養科目卒業要件単位も参照してください。
- (2) 同一授業科目は、重複して履修することはできません。
- (3) 『授業時間割表』上で、科目名が赤字の共通教養科目は、履修制限を行う授業科目です。履修の許可は抽選によりますので、『学修スタートガイド』を参照して手続きしてください。
- (4) 「人間形成の分野」の「スポーツ文化」は、学内で基礎的な理論と技術・体力を身につけたうえで、適地で学外実習(実習費用が必要)を行います。

種目	ゴルフ(前学期)	マリンスポーツ(前学期)	スキー(後学期)
時 限	火曜日 3 限, 4 限	金曜日 2 限, 3 限	木曜日 4 限, 金曜日 3 限
定 員	各時限 20名	各時限 20名	各時限 20名
演習日	8月上旬 3泊4日	9月上旬 3泊4日	2月下旬 3泊4日
場 所	関東近郊ゴルフ場	江の島付近	北海道富良野
費 用	40,000円	40,000円	55,000円
備 考	コースで3ラウンドする予定	ヨットやカヤックを実施する予定	スキーとスノーボードを実施する予定 SAJ バッジテストあり

- (5) 履修方法の詳細については、本『履修要覧』とともに、『学修スタートガイド』『授業時間割表』『^{シラバス}Syllabus』を熟読してください。

1 共通教養科目卒業要件単位 (各学科専攻科目の教育課程表もかならず確認してください)

経済学科

共通教養科目 卒業要件単位
<p>共通教養科目から次の内訳で合計32単位以上を修得すること。</p> <p>(1) F Y S 2単位。</p> <p>(2) 第一外国語から英語を8単位。ただし、外国人留学生及び外国高等学校在学経験者(帰国生徒等)は申請により、英語に換えて、4～6単位まで日本語とすることができる。なお、8単位に不足する単位は英語で補うものとする。</p> <p>(3) 人文・社会・自然の各分野からそれぞれ4単位以上修得すること。</p> <p>(4) 共通テーマ科目から2単位以上修得すること。</p> <p>(5) 上記の(3)、(4)の計14単位の他に、人文・社会・自然・人間形成の各分野及び共通テーマ科目から規定の単位数を超えて8単位以上修得すること。</p> <p>(6) 「スポーツ文化～」は、2単位まで「卒業要件単位数」に算入することができる。</p> <p>(7) 「キャリア形成～」、「国内インターンシップ」、「海外インターンシップ」は「卒業要件単位数」に算入できない。</p>

現代ビジネス学科

共通教養科目 卒業要件単位
<p>共通教養科目から次の内訳で合計34単位以上を修得すること。</p> <p>(1) F Y S 2単位。</p> <p>(2) 第一外国語から英語を8単位。</p> <p>(3) 第二外国語として、第一外国語以外の外国語(同一語に限る)又は「インテンシブ・プログラム〔英語〕」の科目より4単位以上修得すること。ただし、外国人留学生は母国語を除く。</p> <p>(4) 人文・社会・自然の各分野からそれぞれ4単位以上修得すること。</p> <p>(5) 共通テーマ科目から2単位以上修得すること。</p> <p>(6) 上記の(4)、(5)の計14単位の他に、人文・社会・自然・人間形成の各分野及び共通テーマ科目から規定の単位数を超えて6単位以上修得すること。</p> <p>(7) 「スポーツ文化～」は、2単位まで「卒業要件単位数」に算入することができる。</p> <p>(8) 「キャリア形成～」、「国内インターンシップ」、「海外インターンシップ」は「卒業要件単位数」に算入できない。</p>

2 共通教養科目（外国語科目を除く）教育課程表

次ページを参照してください。